



サノヤスホールディングス株式会社

第15期定時株主総会

2026年6月23日

Sanoyas

1. 事業の経過及びその成果
2. 連結貸借対照表
3. 対処すべき課題
4. 議案

1.決算概要

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期	前年同期比	2027年3月期 予想
売上高	25,006	26,828 (25,663)	1,821 (657)	30,000
営業利益	1,065	1,674 (1,598)	609 (532)	1,000
経常利益	1,073	1,650	576	1,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,182	1,427	244	800

※ () 内は、2025年6月にグループ入りした小寺電子製作所及び
2025年7月にグループ入りしたヤマガタ共同の2社を除いた数値。

1.決算概要

増収・増益、受注高・受注残高増加

- ・売上高は乳化・攪拌装置の製造が好調に推移したことに加え、2025年6月よりグループ入りした小寺電子製作所の売上高が寄与したこと、空調・給排水・衛生設備の設計及び施工や建設工事用エレベーターの製造及びレンタルが堅調に推移したことから、増収
- ・営業利益は空調・給排水・衛生設備の設計及び施工や大規模施設向け動力制御盤・分電盤・配電盤等の製造で利益率が改善したことから、大幅な増益
- ・受注高・受注残高は大口の遊園地遊戯機械設備の複数受注に加え、建設業向けセグメントが全体的に好調に推移、大幅増加

- 製造業向け
- 建設業向け
- レジャー
- 本社部門

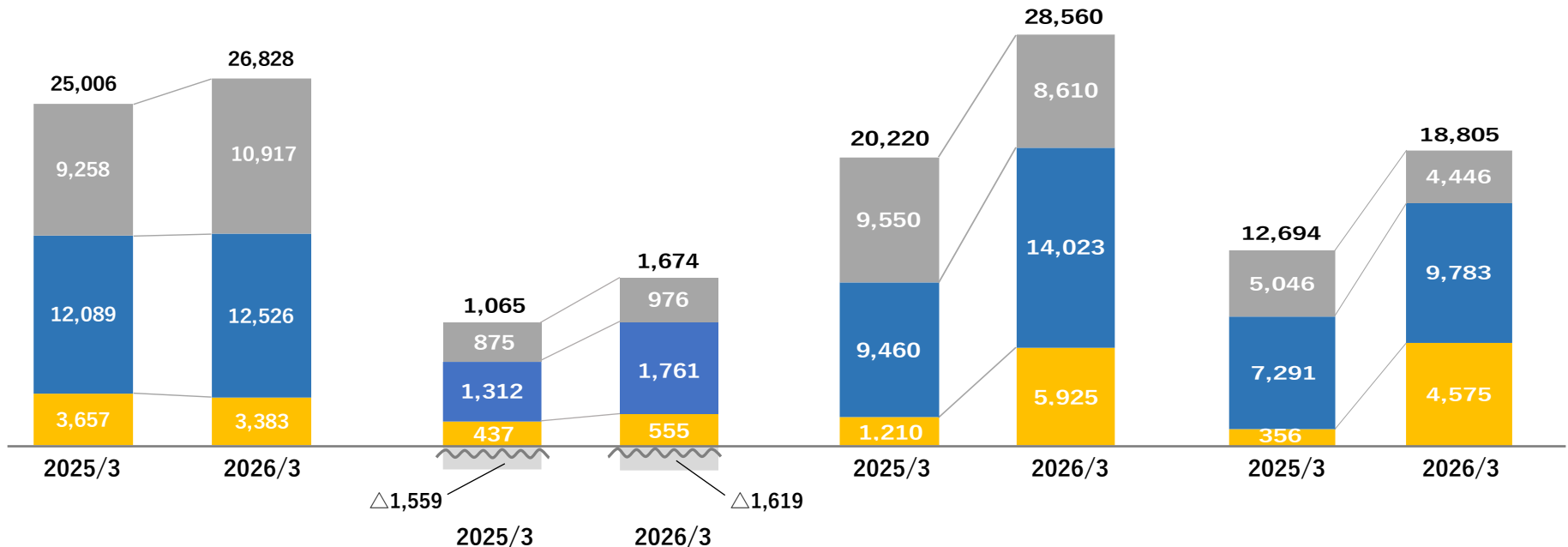
(百万円)

売上高

営業損益

受注高

受注残高



1. 事業の経過及びその成果

グループ各社の手掛ける事業及びセグメント分類

	サノヤス・エンジニアリング	サノヤス精密工業	みづほ工業／美之賀機械	小寺電子製作所	サノヤス・エンテック	ハピネスデンキ	松栄電機／松栄電気システムコントロール	ヤマガタ共同	サノヤス・ライド／サノヤス・ライドサービス
製造業向けセグメント	ブラストマシン	各種産業機械部品	乳化・攪拌装置	全自動電線加工機	環境装置				
		農機及び特装自動車用部品	純水設備、排水処理設備及び膜分離装置		医療廃棄物処理装置				
			大型食品タンク等各種タンク						
建設業向けセグメント	機械式駐車装置				空調・給排水・衛生設備	大規模施設向け動力制御盤・分電盤・配電盤	通信インフラ向け配電盤・分電盤	各種制御盤・操作盤等	
	建設工事用エレベーター								
レジャーセグメント									遊園地遊戯機械
									遊園地施設の運営管理

2-2.セグメント別業績・製造業向け

- ・売上高は乳化・攪拌装置の製造で大口案件の引き渡しがあったことに加え、2025年6月よりグループ入りした小寺電子製作所の売上高寄与による大幅な増収、営業利益は増収に伴い増益
- ・受注高、受注残高は純水設備・排水処理設備及び膜分離装置の設計及び施工で前期に受注した大口工事が完工したことに加え、大口工事の受注が少なかったこと、中国の経済状況の不調により海外での受注が低調であったことを主因に減少

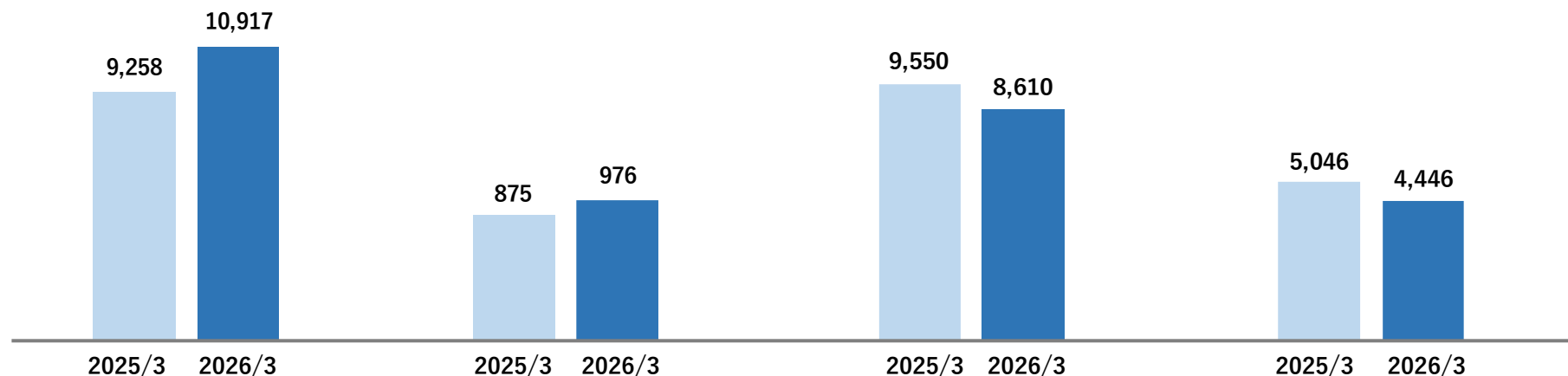
(百万円)

売上高

営業損益

受注高

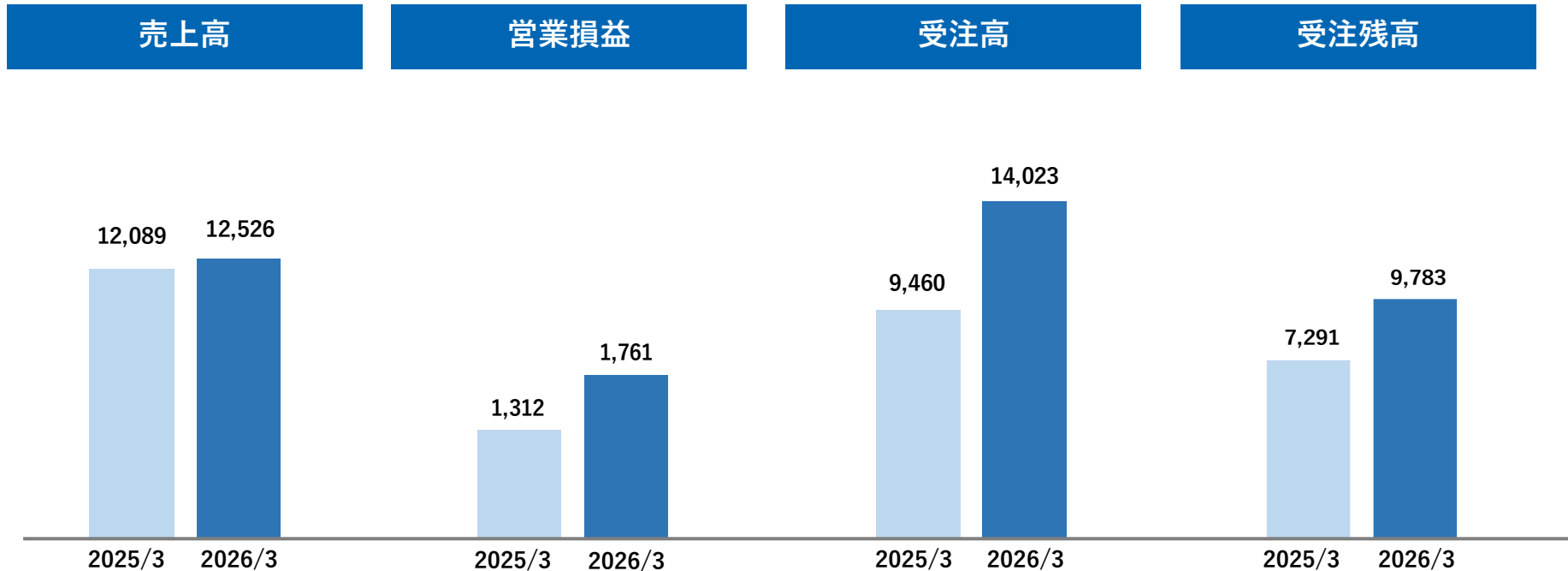
受注残高



2-3.セグメント別業績・建設業向け

- ・売上高は空調・給排水・衛生設備の設計及び施工や、建設工事用エレベーターの製造及びレンタルが好調に推移したこと、2025年7月よりグループ入りしたヤマガタ共同の売上高寄与により増収
- ・営業利益は、増収に加え、大規模施設向け動力制御盤・分電盤・配電盤等の製造や空調・給排水・衛生設備の設計及び施工で利益率が改善したことにより、大幅な増益
- ・受注高・受注残高は空調・給排水・衛生設備の設計及び施工や大規模施設向け動力制御盤・分電盤・配電盤等の製造、機械式駐車装置の製造及びメンテナンス、建設工事用エレベーターの製造が好調に推移し、大幅に増加

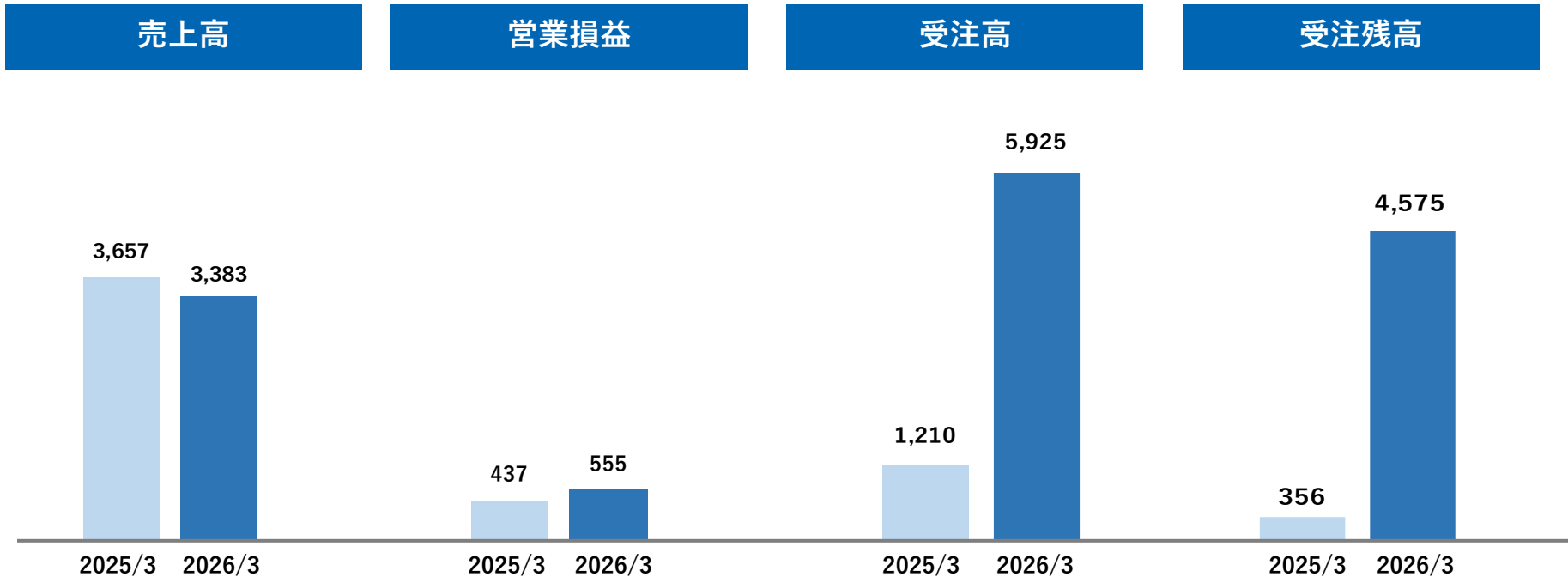
(百万円)



2-4.セグメント別業績・レジャー

- ・売上高は前年同期に大口の遊園地遊戯機械設備の製造があった反動で減収となったが、営業利益は利益率の改善により増益
- ・受注高、受注残高は熊本県のグリーンランドに大型のジェットコースター導入が決まったことをはじめ、複数の大口遊園地遊戯機械設備を受注したことにより大幅に増加

(百万円)



1. 事業の経過及びその成果
2. **連結貸借対照表**
3. 対処すべき課題
4. 議案

2. 連結貸借対照表

(単位：百万円、表中の括弧内上段は前期末比増減、下段は同増減率)

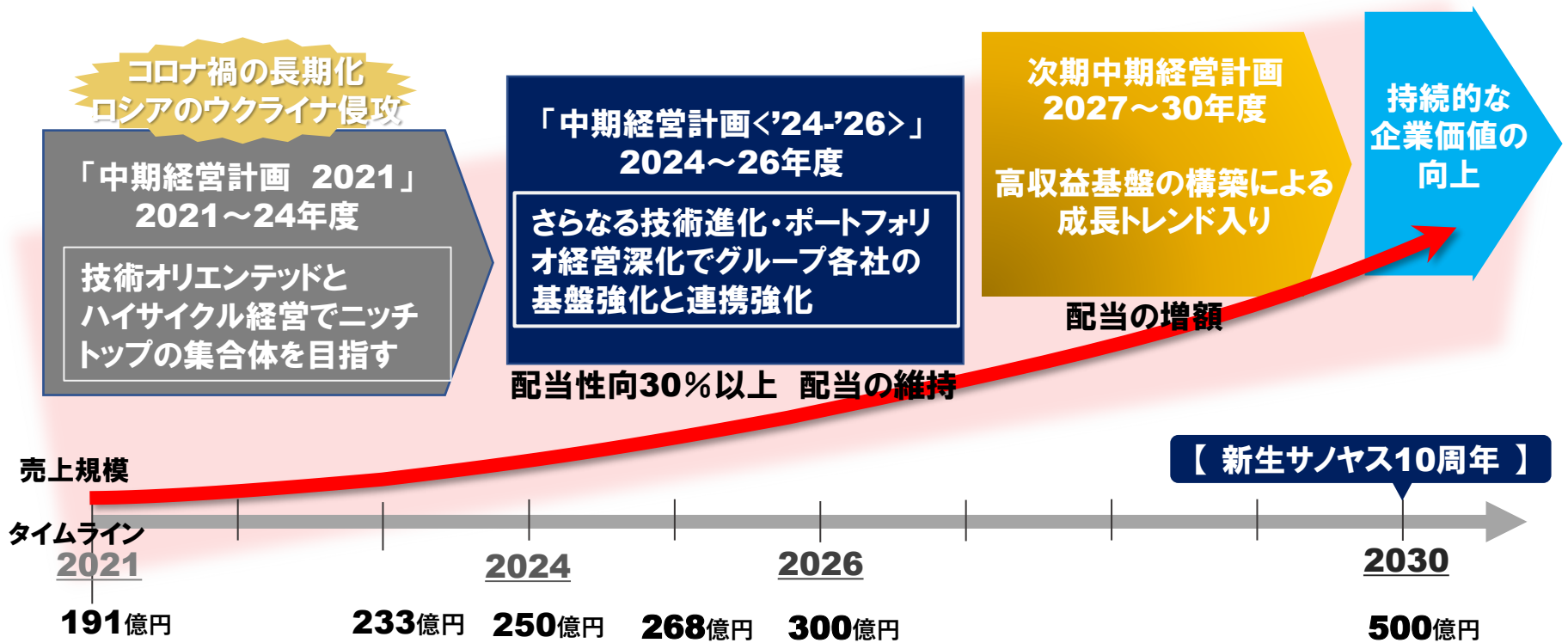
資産の部		負債の部	
流動資産	14,821 (+2,015) +15.7%	流動負債	12,423 (+2,002) +19.2%
		固定負債	9,162 (+2,079) +29.4%
		負債合計	21,585 (+4,081) +23.3%
		内 有利子負債	10,551 (+2,455) +30.3%
固定資産	19,242 (+4,373) +29.4%	純資産の部	
		純資産合計	12,479 (+2,308) +22.7%
		自己資本比率	36.5% (▲0.1ポイント)
資産合計	34,064 (+6,389) +23.1%	負債及び 純資産合計	34,064 (+6,389) +23.1%

1. 事業の経過及びその成果
2. 連結貸借対照表
3. 対処すべき課題
4. 議案

3.中期経営計画<'24-'26>の進捗

中期経営計画<'24-'26>の位置づけ

「中期経営計画<'24-'26>」は新生サノヤス10周年に向けた成長トレンドを実現するための経営の基盤固めの期間と位置づけ



中期経営計画<'24-'26>の骨子

<p>事業成長 エンジン 強化</p>	<p>ソリューション強化</p>	<p>イノベーション</p>	<p>(1) 注力分野の成長ドライブ</p>
			<p>産業インフラ・環境関連ソリューションの拡充にリソースを重点投下</p>
<p>ESG経営の 進化・深化</p>	<p>(2) 既存事業の強化</p>	<p>成長分野へのリソースの優先配分と新製品開発による差別化戦略の実行</p>	<p>各事業分野においてメンテ・サービスの強化を通じて、顧客との信頼関係を更に強化</p>
	<p>(3) 新規事業分野への進出</p>	<p>新マーケット開拓や海外展開に加え、M&Aによる新規事業分野への進出も展望</p>	
	<p>(4) カーボンニュートラル実現に向けた取組み推進</p>	<p>(5) 人的資本経営の充実</p>	<p>オペレーション強化のための人財確保の推進</p>
<p>事業基盤の強化</p>	<p>(6) 収益力アップに向けた事業基盤の強化</p>	<p>営業力、ものづくり力を強化することによる収益力の向上を実現</p>	

中期経営計画<'24-'26>の進捗

(1) 注力分野の成長ドライブ

産業インフラ分野

データセンター新築案件に対応するため、松栄電機（株）／松栄電気システムコントロール（株）の人員増強、ハピネスデンキ（株）とのコラボレーションにより大型案件の受注を獲得いたしました。

加えて、2025年7月1日付けで（株）ヤマガタ共同を子会社化し、動力制御盤等の生産能力の拡大を図りました。

同社は各種制御盤・操作盤メーカーとして板金加工、組立配線、検査までを自社工場で一貫して手掛け、取引先の多様なニーズに応えながら信頼と実績を積み重ねています。

松栄電気システムコントロール（株）と同じ山形県に拠点を保有しており、シナジー効果を発揮させていきます。


株式会社ヤマガタ共同

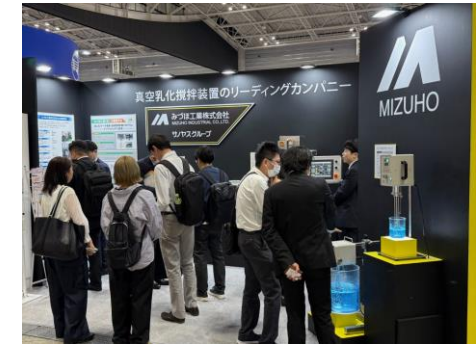

(2) 既存事業の強化

みづほ工業 (株)

2024年度に開発を行った試験用新モデル2機種「PVQ-N (ネクスト)」、「LR-P2」の販売を開始し、自社の攪拌技術セミナー及び2026年1月の化粧品開発展に出展し、拡販を行いました。

PVQ-N 製品特長

- ① 快適操作と確かな視認性
 - ・ ガラス製容器で攪拌状態観察が可能
 - ・ 攪拌羽根は工具レスで着脱可能
 - ・ 大型タッチパネルで直感的な操作
- ② 簡単データ管理
- ③ 実験をサポートする充実機能



化粧品産業技術展の様子

サノヤス・ライド (株)

グリーンランドリゾート株式会社が運営するグリーンランド (熊本県荒尾市) 内に大型ジェットコースターを2028年3月 (予定) に導入します。日本初の「鋼鉄製支柱×木製走路」のハイブリッドコースターであり、新感覚の体験を提供します。

ハイブリッドコースター海神～WADATSUMI～

- ① 圧倒的「浮遊感×爽快感」
- ② 「鋼×木」のハイブリッドコースター
- ③ こどもからシニアまで楽しめる全世代型コースター
- ④ 世界的受賞歴を誇るGCIが手がける乗車体験

最高速度	66.5 km/h
全長 / 最高部高さ	620.8 m / 19.3 m
乗車定員	2人乗り×8両 = 16名2編成



(3) 新規事業分野への進出

(株) 小寺電子製作所の子会社化

2025年6月2日付で1973年創業のワイヤーハーネス加工機メーカーである(株)小寺電子製作所を子会社化しました。

「キャストینگ」では国内でトップシェアを占めています。

積極的な海外販売活動を行っており、米国テキサス州で開催された「Expo Wire Tech EL PASO 2025」に出展しました。



全自動電線切断皮剥装置
「キャストینگ」
新製品 C370G



全自動端子圧着機
「キャストグノン」
両端防水シール挿入タイプ

イノベーションの推進

2024年4月1日付で、社長直轄にイノベーション推進委員会を、グループ傘下の各事業会社からメンバーを選出、設置し、新規事業創出の検討を行いました。

2年間の活動の結果、出てきたアイデアの具現化に向けて、2026年4月1日付けでサノヤステクノサポート(株)内に「イノベーション推進部」を設置し、開発の加速を図ります。



(4) カーボンニュートラル実現に向けた取組み推進

グループ各社において電力削減に取り組むとともに、太陽光発電のサノヤス精密工業（株）への設置やRE100電力の活用などでCO₂排出削減を進めています。

2025年度は売上高増に伴う稼働の上昇、M&Aによる拠点の増加、電力会社のCO₂排出計数の変動等の要因で前年比で上昇しておりますが、引き続き2030年度の目標達成に向け取組みを進めていきます。



(5) 人的資本投資の充実

給与及び賞与増額

2024年度から2026年度の3年間について毎年5%の賃金増額を実施しています。
2026年度の賞与については前年比0.5か月の増額としており、物価上昇及び社会的要請、従業員のさらなる頑張りに応えるため、処遇改善に努めてまいります。

人事制度の見直し

当社を含めたグループ内6社では、人財を大切にし、その価値を最大限に活かす「人財重視経営」の更なる推進のため、「社内の活性化」及び「働きやすく、働き甲斐のある会社」を目指して、2026年4月に人事制度の見直しを実施しました。
より多角的な視点での人事考課、昇格スピードの早期化、多様なキャリア形成に対応した制度とすることで、これまで以上に従業員ひとり一人に寄り添った、納得感が高く遣り甲斐のある企業を目指すとともに、グループ全体についても横展開を図ってまいります。

グループ全社へ65歳定年制度導入

当社を含めたグループ内7社では2019年4月に「65歳定年制度」を導入していましたが、2025年4月より海外子会社を除く当社グループ全社について、定年年齢を65歳としました。
加えて現在70歳までとなっている再雇用制度を変更し更なる雇用延長を目指します。

(5) 人的資本投資の充実

従業員の健康増進

健康増進の取り組みを進め、経済産業省より優良な健康経営を実践する企業として「健康経営優良法人2026（中小規模法人部門）」の認定を、国内のグループ全社が取得しました。

また、健康増進施策として「健康増進セミナー」「ウォーキングイベント」を実施し、従業員の体力増進と疾病予防に努めています。



ウォーキングイベント2025 開催決定!

～普段、体を動かす機会が少ない「そのあなた」へ!～

- ◎サノヤスグループ全従業員の「健康増進の一環」として!
- ◎楽しくウォーキングをしながら「賞品」をゲット!
- ◎「心身共に健康」で生き生きと生活できるようにまずは「毎日5分くらい」ウォーキング!!

今年度はランニング機器とバーチャルウォーキングの特典が追加!

ライフスタイルに合わせて3つのコースから選んで参加!

- Aコース: 「目標せ1日平均5,000歩」
 - 1日平均歩数が2,000~4,000歩
 - (例) デスクワーク中心で歩数からあまり歩かない方!
- Bコース: 「目標せ1日平均8,000歩」
 - 1日平均歩数が4,000~7,000歩
 - (例) 通勤は解雇で片道「徒歩10分」4休日は必ず外出される方!
- Cコース: 「目標せ1日平均12,000歩」
 - 1日平均歩数が8,000歩を前走している方
 - (例) 毎朝必ず出勤、自給から毎日ウォーキングを行っている方!

賞品表:

A	5,000歩以上	5,000円
B	8,000歩以上	8,000円
C	12,000歩以上	12,000円

(5) 人的資本投資の充実

人財育成の充実

従来からの新入社員研修・階層別研修等に加え、キャリア採用者向けの「新メンバー導入研修」を実施し、キャリア育成を図っています。

また、管理職研修の充実、次世代経営幹部育成のための選抜研修など研修制度の充実を図り、人財育成に積極的に取り組んでいます。



技術人財の育成

サノヤステクノサポート（株）内に設立している「技術人財開発センター」にて、技術系従業員の人財育成を行い、グループ全体のものづくり力の底上げを図っています。

ものづくりに必要な基礎的知識や思考法を学ぶ「ものづくり塾」では2018年度の開始以来、各事業会社からの受講者が累計で約100名に到達しました。



(6) 収益力アップに向けた事業基盤の強化

営業力の強化

みづほ工業（株）において攪拌技術セミナーを開催し、乳化・攪拌装置の技術内容、製品説明、意見交換を行い、拡販につなげる活動を進めています。これまでに東京で8回、大阪で6回のセッションを開催いたしました。



拠点の整備

従業員が安全・安心に勤務でき、業務効率向上につなげるべく、拠点整備に対する投資を行っています。サノヤス精密工業（株）では建屋が老朽化していたドライブシャフト生産工場の建替えに着手し、2027年3月完工予定です。これにより既存加工工程の作業環境改善につながると共に、新たな加工設備導入スペースも確保され、事業拡大をはかってまいります。



以上のように中期経営計画<'24-'26> 2年目の取り組みは順調に推移しております。

1. 事業の経過及びその成果
2. 連結貸借対照表
3. 対処すべき課題
4. **議案**

4. 議案

第1号議案 剰余金の処分の件

当社は、株主に対する利益還元を経営の最重要課題として認識しており、企業体質強化のための内部留保に努めながら、業績に対応し安定した配当を維持、継続することを基本方針としております。

当期業績及び財務状況並びに将来の成長に向けた事業投資等を総合的に勘案のうえ、第15期の期末配当は、以下のとおりとさせていただきたいと存じます。

- (1) 配当財産の割当てに関する事項及びその総額
当社普通株式1株につき金7円50銭、総額251,523,465円
- (2) 剰余金の配当が効力を生ずる日
2026年6月24日




4. 議案

第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）7名選任の件

氏名		現在の地位及び担当	重要な兼職の状況	候補者の属性			
上田 孝		代表取締役会長		再任			
平尾 賢二		顧問		新任			
岩佐 久徳		常務執行役員 企画部担当兼経理部担当		新任			
北達 伊佐雄		代表取締役社長		再任			
森 薫生		社外取締役	高麗橋中央法律事務所 所長（弁護士）	再任	男性	社外	独立
高橋 健二		社外取締役		再任	男性	社外	独立
副島 寿香		社外取締役	株式会社大気社 社外取締役	再任	女性	社外	独立


4. 議案

第3号議案 監査等委員である取締役3名選任の件

氏名		現在の地位及び担当	重要な兼職の状況	候補者の属性			
久下 鉄也		取締役常勤監査等委員		再任			
山田 茂善		社外取締役監査等委員	太陽有限責任監査法人 総括代表社員CEO	再任	男性	社外	独立
山廣 隆文		社外取締役監査等委員		再任	男性	社外	独立

4. 議案

第4号議案 補欠の監査等委員である取締役選任の件

氏名		現在の地位及び担当	重要な兼職の状況	候補者の属性		
副島 寿香		社外取締役	株式会社大気社 社外取締役	女性	社外	独立



サノヤスホールディングス株式会社

「確かな技術に まごころこめて」
人と技術を磨き、新たな顧客価値を創出する

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、
当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、
実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。